

## 令和6年第3回木津川市議会定例会（9月9日）

### 一般質問通告書

1 小見山 正	質問事項：要介護認定と地域包括ケアについて
質問要旨	<p>1 介護保険制度が開始され24年が経過し、その間、要介護認定を受けている高齢者は増加の一途をたどっている。要介護認定を受けるために必要な申請手続については、利用者が市に申請をした後、訪問調査によるコンピューター判定と主治医の意見書をもとに審査会に諮られ、要介護度が決定される。申請から介護度が決定される期間は介護保険法によって、申請のあつた日から30日以内と定められている。しかし、本年6月の本市の状況は、平均処理日数が38.5日となっており、法で定められた期間を超えることが常態化している状況である。これは本市にとどまらず、厚生労働省の調査によると、令和3年度上半期でも全国平均36.2日となっており、介護認定を速やかに行うための保険者側の対応については全国的な課題となっている。</p> <p>同法では、「特別な理由がある場合においては」、その理由と処理見込期間を被保険者に通知するがあるが、本市において処理が遅れている理由がその「特別な理由」にあたるのか、処理を速やかに行うための現在までの取り組みを伺いたい。</p> <p>2 京都府では山城南保健所圏域で介護認定を受ける人口が、2030年度には2023年度末の1.3倍となると推計されているが、今後の認定事務については訪問調査員の確保、審査会の開催回数の増加や審査時間を縮減するための工夫などが必要となってくると考えるが、市の考えは。</p> <p>3 比較的身体が健康で、今まで医師の受診がなく認知症の疑いがある親族を抱えた家族にとって、介護認定申請を行うことを検討するにあたっては、まず、その当事者を受診させることが必須となる。例えば、70～80歳代の親を働きざかりの40～60歳代の子または配偶者が新たに主治医を探し、受診して、意見書をもらっての介護認定を申請することは、経済的・心理的な負担も大きいと推察される。当事者が速やかに介護サービスを受けることは当事者のみならず、介護を担う親族の負担も軽減され、ひいては症状の進行を食い止めることにつながるのではないか。</p> <p>今後、本市においても、高齢化の進展は避けられず、介護を担うであろう市民のみなさんに介護やフレイル予防などの理解を広め、介護保険制度について周知をしていくことによって、当事者からのサインを見逃さず、速やかに介護サービスなどを利用いただける取り組みを進めていくことが、国が目指している地域包括ケアシステムの在り方であると考えているが、本市の見解を伺いたい。</p>
質問要旨	質問事項：地域コミュニティの活性化と市民参加
質問要旨	<p>現在、本市では行政地域設置条例に基づき、地域の代表は地域長となっている。他方、町内会・自治会は任意団体であり、条例上の設置根拠は無いが、地域福祉計画や地域防災計画では町内会・自治会と連携することが明記されている。</p> <p>町内会・自治会は、地域活動、福祉、防災など多くの場面で、重要な役割を果たすが、加入率の低下が全国的に問題となっている。</p> <p>(1) そこで、まず取り組むべきは町内会・自治会への加入率向上だと思うが、市の認識は。加入率向上に向けて市はどのような取り組みをしているのか。</p> <p>(2) 市民の声を聞くチャンネルとして地域要望などがあるが、市民からは市長と直接意見交換できる場が欲しいという要望がある。第2次総合計画後期計画77頁に「市長懇談会の開催」とあるが具体的な実施計画はあるのか。</p> <p>(3) 地域コミュニティ活性化のためには、市政・地域にあまり関心が無い、または、町内会・自治会の活動の負担が重いので参加できないという市民が、地域コミュニティに参加できるような仕組みを作る必要があると思うが、市の認識は。</p>

	<p>2 山本 しのぶ</p>
	<p>質問事項： 市長の危機管理意識を問う</p>
質 問 要 旨	<p>市長は所信表明に「災害に強いまちづくり」を掲げておられます。豪雨災害や大地震から市民の「生命」と「財産」を守るため、内水対策事業をはじめ、公共施設の耐震化など、被害を最小化するためのまちづくりに取り組むことを表明されました。また、令和6年度の施政方針には、誰もが災害発生時に迅速かつ的確に行動できるよう、情報提供に努めるとともに、災害に強い都市基盤の整備や危機管理体制の強化を図るとあります。しかし、6月議会の一般質問の中で、市の管理する橋梁の耐震点検調査を実施していないことや、他市と比較して災害備蓄品の数量が大変少ないとが明らかになりました。先月8月8日には、気象庁が「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」を発表。今、市長の危機管理意識が問われています。そこで次のとおり市長にお伺いします。</p> <p>(1) 本年3月議会において、「木津西消防出張所の存続を求める請願」が、4, 535筆の署名とともに提出されました。そして、請願項目1「木津川市長（管理者）に対して、木津西出張所の在り方に関わり、対象地域住民へ説明会を行うように要請すること」が採択されました。住民が説明会の開催を求める請願について市長の認識をお伺いします。</p> <p>また、消防力の整備に関する説明責任について市長の考えをお伺いします。</p> <p>(2) 「木津川市地域防災計画」には、地震対策として橋梁耐震点検調査を実施するとありますが、市は耐震点検を実施していません。大規模地震に備えて主要な橋梁・こ線橋を確定し、調査を実施すべきではありませんか。道路管理者である市長の考えをお伺いします。</p> <p>(3) 同計画には、道路管理者又は木津警察署長は、災害により道路や橋梁に被害が発生した場合、通行の禁止、制限又は迂回路の設定等の交通規制を実施するとあります。市内を走る近鉄線には、市の管理する東西幹線1号橋と府が管理する東西幹線2号橋があります。この2橋が被害を受けた場合のシミュレーションは出来ていますか。市長にお伺いします。</p>
質 問 要 旨	<p>質問事項： 大規模災害の備えは万全か</p> <p>想定を上回ってくるのが災害です。だから、私たちは現状で可能な限りの対策を講じ、大規模災害に向けた「備え」を「日常化」していくことが大切です。そこで、平常時の備えとして、以下のとおり質問します。</p> <p>(1) 本年3月議会で、平時に「受援シート」を策定しておくことで、緊急時に迅速な対応が可能であると問いましたが、その後の取り組み状況をお伺いします。</p> <p>(2) 災害への備えは、平時から行うことが重要です。特に、飲み水とトイレは、災害関連死を防ぐためにも十分な備えが必要です。現状の市の防災備蓄品の数量は十分であるとの認識ですか。市長にお伺いします。</p> <p>(3) 戸別受信機を必要とする住民がいます。個別最適な情報ツールの提供を求めます。同時に、施政方針にある「災害情報提供」について市長の認識をお聞きします。</p> <p>(4) 災害に強い都市基盤の整備や危機管理体制の強化については、河川や活断層などの自然条件や高齢化率等地域の実情を具体的な要件として考慮する必要があります。市長の考える「災害に強いまちづくり」についてお伺いします。</p> <p>(5) 6月議会の一般質問で市長に祝園弾薬庫への対策・対応についての考えを伺いましたが、市長から答弁はなく、情報さえ集めていないとのことでした。前市長は、「弾薬庫で不測の事態が生じた場合、市民の生命と財産を守ることを第一として、迅速に被害予防・応急対策の実施に努める。国に対しては、施設の厳重な安全管理について要望していく。」と答弁されました。改めて、祝園弾薬庫への対策・対応について市長の考えはないのかお伺いします。</p>

3	草水 基成
質問事項：人づくりの環境はどうか	
質 問 要 旨	<p>地方自治体を中途退職する公務員の増加が止まらないようです。総務省の「地方公務員の退職状況等調査」から「普通退職者」の人数を抽出すると、2013年度以降、数百人のペースで増加しています。21年度になると1万人を超えるようになりました。</p> <p>総務省は昨年、自治体の人材確保策などを議論する有識者検討会を設けたようです。</p> <p>そこで、次の点について伺います。</p> <p>(1) 本市での中途退職者の近年の状況と現状分析を伺います。また、人財獲得競争は、企業と自治体間だけでなく、自治体間でも起きています。本市が望む人財とは。また人財を確保するための取り組みを具体的に、お聞かせください。</p> <p>(2) こども家庭庁は、保育士不足の実態を把握するため、初めて全国調査を行う方針です。保育施設の職員数や人財確保策の成功例を調べ、人財不足解消に繋がる支援策を図るようです。本市の現状と見解を伺います。</p>
質問事項：安全で快適な環境とは	
質 問 要 旨	<p>安全な暮らしは日常生活の最も基本的な条件ですが、地域の多様な実情に合わせた取組みが必要とされています。</p> <p>次の点について伺います。</p> <p>(1) 危険なほどの猛暑に見舞われた今年の夏。住民の安全対策の観点からも、公共施設における空調設備は、いまや自治体にとって喫緊の課題。特に体育館は災害時の避難所として運用されるケースも多く、その優先度は高いです。</p> <p>中学校体育館空調設備整備に着手されましたが、小学校や他の公共施設の体育館やトイレなど付属する施設などの室内環境整備についての考えをお聞かせください。</p> <p>(2) 夏休みなど長期休暇を望んでいる児童生徒がいる一方、子育て中の困窮者世帯はその休みが不安です。ひとり親家庭や困窮を抱える家庭等の子どもについて、夏季等の長期休業期間中の食事について配慮が必要として「地域子供の未来応援交付金」などを活用して支援を行う自治体もあるようですが、放課後児童クラブなど長期休暇時の子どもに対する食の支援を本市はどのように行われているか。お聞かせください。</p> <p>(3) 働き方改革で平日に休日を選択する保護者が増えたことから、親子で過ごす時間を確保しやすいようにという狙いで、小中高生の平日休みを欠席扱いしない取組み「ラーケーション」が各地で始まっているようです。本市の見解を伺います。</p>
質問事項：答弁された事のその後について	
質 問 要 旨	<p>以前に質問した事柄について、本市の姿勢・進捗状況を伺います。</p> <p>(1) 府県境施設の多数の徘徊犬が、8月末までに係留しなければ本市として道路占用の許可を出さない条件でした。進捗状況をお聞かせください。</p> <p>(2) 府県境施設と市道の境界確定の手続きが、なぜ進まないのですか。お聞かせください。</p>

4 谷川 光男	
質問事項： 加茂恭仁宮の整備計画について	
質 問 要 旨	<p>恭仁宮跡（山城国分寺跡）周辺には、重要な寺院等が立地し「万葉集」にも詠われた恭仁宮の地に、秋には観光名勝となる市の花「コスモス」が咲く広い空地があり、市でも毎年事業が進められています。そこでお尋ねします。</p> <p>(1) 恭仁宮跡（東西約560m×南北約750m、面積約42ha）の用地取得状況と今後の整備計画等の流れは。</p> <p>(2) コスモス畑の現状と今後の取り組みは。</p> <p>(3) 海住山寺・大井手用水路・恭仁小学校等を活かし、木津川市の観光・文化・歴史の拠点にする考えは。</p>
質問事項： コミュニティバスの再編を（やましろバス編）	
質 問 要 旨	<p>市民の皆様にとって使いやすい満足度の高い地域公共交通づくりに取り組んで17年が経過しました。その間市民の声を聞き停留所等の位置変更等に取り組まれましたが、利用者の状況はやましろバス路線は減少傾向にあります。そこでお尋ねします。</p> <p>(1) 昨年実施されたアンケート調査について、やましろバスに関する回答者数は。また利便性・アイデア及び要望は記入されていたのか。また、内容を含め分析は。</p> <p>(2) 昨年1年間における時刻表ごとの乗客数は。協議会で利用者を増やす対策を審議されたのか。</p> <p>(3) バス時刻表を変更する考えは。</p> <p>(4) 市内コミバスの均衡統一のために、土・日・祝日の運行の考えは。</p> <p>(5) 精華町とのバス広域化について市長の考えは。</p> <p>(6) やましろバスの祝園延伸計画に伴い、国交省への事前ヒアリング等は実施しているのか。また協議会の意見は。</p> <p>(7) 高齢者の免許証自主返納者に期間設定をして無料にする考えは。</p>
質問事項： 住民の声から	
質 問 要 旨	<p>1 下水道使用料の収納状況と滞納対策は。</p> <p>(1) 収納状況及び収納率は。</p> <p>(2) 未納者への対策はどうされているのか。</p> <p>(3) 今後収納率アップに向けての取り組みは。</p> <p>2 今年の夏、猛暑日が続いた中、危険な暑さを知らせる「熱中症特別警戒アラート」の運用開始に合わせ、木津川市の対応はどのようにされたのか。</p> <p>3 市道と国・府道との交差点において交通事故が再三発生していると市民から聞く。市は事故後道路管理者として、警察署と協議し、その対策を講じられていると思いますが、事故が無くなっていない現状と思う。そこでお尋ねします。</p> <p>(1) 再三再四発生している交差点はどれくらいあるのか。</p> <p>(2) 木津川市は、危険と思われる交差点には、信号機設置を警察署（公安委員会）に要望しているのか。また地域からの要望は。</p> <p>(3) 今年度市内で設置される箇所は。</p> <p>4 市民の防災対策について</p> <p>今年11月末のアナログ型防災無線廃止に伴い、防災情報メール等が出来ない高齢者等への情報伝達について、市の考え方を問う。</p> <p>(1) 令和5年1月以降の市防災情報メール等の登録者数は。また、世帯に対する比率は。</p> <p>(2) 高齢者・要支援者世帯の未登録者を把握しているのか。</p> <p>(3) 現在のデジタル型戸別受信機の使用者は。</p> <p>(4) 市民で、デジタル型戸別受信機の使用を希望される方への対応は。</p>

## 令和6年第3回木津川市議会定例会（9月10日）

### 一般質問通告書

1	堤 征一郎
質問事項：市域における交通網の充実について	
質 問 要 旨	<p>本市の交通網は、道路や鉄道の整備がまだまだ遅れています。特に城陽井手木津川バイパスの早期完成やJR奈良線の複線化などは、長年の懸案となっています。計画を前に進めるためにも国への陳情を含めた努力が欠かせません。また、市道木892木津鹿背山線とJR奈良線の交差するガード下は、かなり狭く事故の危険性が高いです。</p> <p>そこで市内交通網の開発整備と安全面について、以下の通り質問いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) バイパスの早期完成や複線化について、市としての取組みは。</li><li>(2) 前述のガード下付近において、過去に事故が発生した事例はあるのか。市として安全確保のためにどのような対策をしているのか。</li><li>(3) ガード下拡幅について、どのような手段をとれば早期に実現できるのか。</li></ul>
質問事項：本市におけるドローン導入について	
質 問 要 旨	<p>災害時にドローンを使って、情報収集をする自治体が急速に増えています。</p> <p>また、ドローンは災害時ののみならずインフラの維持管理や観光における情報発信など、活用分野が広がっています。</p> <p>本市においても、ドローンを職員が運用する体制を整えることにより住民サービスの更なる充実が図れると期待されます。そこで、以下の点について質問します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 本市の行政活動においてドローン活用の実績はあるのか。</li><li>(2) ドローンの活用について、提携している団体はあるのか。また、具体的な提携内容は。</li><li>(3) 庁内でドローン活用のプロジェクトを立ち上げ、先進地視察や府内アンケートを踏まえて導入に向けての検討をしてはどうか。</li></ul>
質問事項：ネーミングライツ等の歳入増加策について	
質 問 要 旨	<p>木津川市の財政状況は、依然厳しい状況が続いております。本議会においても必要な支出を求める同時に、追加の歳入を確保する手段を模索する努力を続けるべきです。</p> <p>そこで、ネーミングライツを始めとする歳入増加のための施策について質問します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) ネーミングライツの現状と、その収入額はいくらか。交流会館や体育館において、導入の検討をしてはどうか。導入にあたって、どのようなメリットとデメリットが想定されるか。</li><li>(2) 市役所1階のパネル画面を使って広告収入を得る自治体があるが、本市において導入の検討をしてはどうか。</li><li>(3) 市税や健康保険税以外の滞納金について、収納率を高めるためにどのような対策をしているのか。所管を越えた連携をしているのか。</li></ul>

2	柴田 はすみ
質問事項：マイナ保険証の普及と利用促進を問う	
質 問 要 旨	<p>本年12月2日から従来の「健康保険証」は新規発行されなくなり、その後は「マイナンバーカード」での保険証利用を基本とする仕組みに移行していきます。</p> <p>円滑に移行するために、政府としては、「マイナンバーカード」の総点検を行い国民の信頼回復に努めてきました。現在は、本年5月～7月を「マイナ保険証利用促進集中取組月間」として、医療団体との連携やあらゆるメディアを通じて広報を展開しています。</p> <p>一方で、地方議会においては「健康保険証の存続を求める意見書」「健康保険証廃止の見直しを求める意見書」などを採択する動きが続いている。</p>

質問要旨	<p>こうした状況を踏まえて、地域住民が「マイナ保険証」を安心して利用でき、利便性や質の高い医療を受けるための基盤となっていくこと等、正しい情報を丁寧に発信していくことが必要と考えます。</p> <p>(1) マイナ保険証の利用促進に向けての取り組みについて、動画やポスターなどの広報素材の印刷提供などのサポートメニューがあるが市の取り組みは。</p> <p>(2) 市のマイナンバーカードの取得状況と、未だ保有されていない方への対応は。</p>
<b>質問事項： 障害者福祉サービスの充実を</b>	
質問要旨	<p>障がいのある人も普通に暮らし、地域の一員としてともに生きる社会づくりを目指して、障害福祉サービスを始めとする様々な障害者保健福祉施策が取り組まれています。</p> <p>本市でも本年より、身体および知的障がい者の相談を、個々に、また毎月相談日を決めて取り組んでいただいている。ご本人はもちろんのこと、ご家族の方も色々とお悩みがあると聞いています。</p> <p>昨年、市ではタクシー利用券を一部ガソリン券としても使えるように使途を拡大しました。しかし、障がいをお持ちの方が不便なく普通に暮らしていくにはまだまだ課題は多くあると認識しています。</p> <p>最近、グループホームに入りたくてもなかなか入れず、親亡き後の心配のお声をお聞きする機会がありました。国では本年、障害福祉サービス報酬を改定する等の取り組みはありますが、市としても積極的に施策を考えるべきと思い質問します。</p> <p>(1) 福祉相談の状況は。</p> <p>(2) 障害者いきいきサポート窓口の利用状況は。</p> <p>(3) 相楽児童発達支援センター「ひまわり」の利用状況は。</p> <p>(4) グループホーム入所の状況は。</p>
<b>質問事項： 婚活支援の取組と対策は</b>	
質問要旨	<p>先日、岐阜県関市で「婚活支援」について研修を受けてきました。関市では人口減少と婚姻の状況をグラフ化し、人口減少は未婚や晩婚化が原因の一つであると、婚活支援に取り組んでいるとの事でした。</p> <p>未婚化が深刻な問題となっている中、府が、出会いの場となるイベントの開催やお相手の紹介を行っている「きょうと婚活応援センター」の役割には期待しています。また、昨年導入されたAIマッチングアプリの登録者は急増していると伺っています。</p> <p>(1) きょうと婚活応援センターの会員登録方法や登録要件は。</p> <p>(2) 「きょうと婚活支援」による成婚状況は。</p> <p>(3) 婚活マスター制度があり、より良い出会いの提供があると聞いているが、市として後方支援等できることは。</p> <p>(4) 積極的に取り組むべきと思うが市としての考えは。</p>

3 玉川 実二	
<b>質問事項： 市民の安全・安心を問う</b>	
質問要旨	<p>今回の質問では、ほぼ毎日発出されている熱中症警戒アラート下での緊急搬送や高齢化による急病リスクの増加に対し、行政の最も大切な職務でもある「市民の命を守る」ことについて、市民の声もまじえ市長の考えを問うものであります。</p> <p>過去に一般質問や代表質問で問われた内容も含め、改めてお尋ねいたします。</p> <p>なお、全ての質問については、相楽中部消防組合議会の判断や決議を問うものではなく、あくまでも「市民の命を守る」という観点から市長の考えを問うものであることを申しております。</p> <p>(1) 市民と議会のつどいの場などを通して、市政運営に対して、「市民の命を守る」という観点から不信感を買う残念なご意見があるが、市長としての見解を求めます。</p> <p>(2) 地元に配布した説明会開催通知では、木津西出張所廃止の説明が含まれていることが、全く伝わっていないとのご指摘を頂いております。市長としてどのように捉えているのかお尋ねいたします。</p>

## 質問要旨

- (3) 消防団員の減少など、現状の体制をどのように評価されているのかお尋ねいたします。
- (4) 昭和47年4月1日に相楽中部消防組合が設立され、同55年4月1日に2町1村が加入、それぞれ52年、44年が経過しております。社会情勢も変化し、且つ人口動態も大きく変わる中、体制等の改革が問われているのではないでしょうか。
- 平成26年本市の第1回定例会で「消防本部設置の考えは」との一般質問があり、行政側の答弁は、「当面は現状での対応要領について検討を進めること。行財政改革行動計画において、相楽中部消防組合については、木津川市としての中長期的な方針を整理し、必要に応じて、組合のあり方や事務事業の効率化、負担金の適正化などについて、他の市町村との協議を実施していく」とのご答弁で、既に10年が経過しますが、現状はどのようにになっているのかお尋ねいたします。
- なお、当消防本部設置関連の質問は、平成24年、26年、27年（代表質問）、そして令和4年と繰り返し実施されたことを申しておきます。
- (5) 最後に「市民の命を守る」という観点から、救急救助統計データの重要項目、及びその数値について、更には今後の高齢社会等のリスクについて、どのようにお考えなのか統計データをお示し頂き、お答えください。

## 4 谷口 英子

## 質問事項：木津川市の公園や緑をみんなで創っていこう

## 質問要旨

- 昨年12月議会でも取り上げた「緑の基本計画」は、平成26年に作られた10年計画のもので、本来ならば平成30年に中間評価をし、令和5年のうちに改訂すると計画に明記されていたものがなぜか全て保留になっています。市は見直す必要がないとしていますが、強い疑問を感じます。
- 緑の基本計画に含まれる緑は多岐にわたります。身近な近所の公園から街路樹、河川や農地までもが含まれます。現在、市内の緑にまつわる未解決の課題は増えるばかりです。
- そこでお聞きします。
- (1) 緑の基本計画の改訂をすべきですか。
  - (2) 木津川市景観条例を制定して市内の景観保護に取組むべきですか。
  - (3) 城山台の一部地域において特色ある公園づくり、公園協議会等に取組むとの答弁がありました、その後の進捗をお伺いします。
  - (4) 市内のいたるところで草ぼうぼうの歩道の植込み等が目に付きます。市民による「まち美化活動」である「アダプトプログラム」の周知・啓発が必要ですか。
  - (5) 総合計画後期基本計画の中にも明記されている、ユニバーサルデザインやインクルーシブデザインを取り入れた遊具の整備は今後どう進めますか。

## 質問事項：木津川市の動物愛護活動をさらに前進させよう～地域猫について～

## 質問要旨

- 今年の4月より「飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費等補助金制度」がスタートしています。これは地域猫活動、まちねこ活動などと呼ばれる動物愛護活動の一環ですが、まだまだ認知度が低いものです。そこで本市の動物愛護活動についてお尋ねします。
- (1) 本市における動物愛護推進の取組みにはどのようなものがありますか。
  - (2) 飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費等補助金の申請状況はいかがですか。
  - (3) 本市の地域猫活動の課題はなんですか。

## 質問事項：HPV（子宮頸がん）ワクチンの接種をする前に～デメリット情報もしっかり確かめて判断しよう

## 質問要旨

- 厚生労働省は2013年以降中止していたHPVワクチン接種の積極的勧奨を2022年4月より再開し、現在全国規模でHPVワクチンの積極的勧奨キャンペーンが展開されています。本市においても「子宮頸がん予防ワクチンキャッチアップ接種」と称して個別に接種を呼びかけています。そこでお尋ねします。
- (1) HPVワクチンの接種対象者は誰ですか。
  - (2) 市が積極的勧奨に踏み切った理由は何ですか。
  - (3) HPVワクチンの副反応について説明してください。

## 令和6年第3回木津川市議会定例会（9月12日）

### 一般質問通告書

1 福井 平和	
質問事項：図書館サービスの充実について	
質 問 要 旨	<p>市民の生涯学習を支える図書館の役割は、第2次木津川市生涯学習推進計画にもあるとおり、市民の学習ニーズに沿った幅広い年代における学習支援と多様な情報提供であります。このため、中央図書館の長寿命化改修工事を行うなど環境整備が図られているところですが、きめ細かで身近な図書館サービスの充実に向けて、以下の質問をします。</p> <p>(1) 借りた本の返却を少しでも容易にするため、市役所、山城支所、JR木津駅、西部出張所にブックポストを新設する考えはないか。</p> <p>(2) 平成31年3月に廃止となった移動図書館について、常設館を補完するものとして、館から遠い地域や新興住宅地、保育所、高齢者施設などを巡回先とした運行を、車両の小型化により再開する考えはないか。</p> <p>(3) 中央図書館の駐車場は借地であるため未舗装のため、雨天時は全面的に水溜まりとなり、利用者は車の乗降に支障をきたしているが、用地取得は出来ないものか。</p> <p>(4) 奈良市との包括協定による奈良市立北部図書館の利用開始から約6年が経過する。木津川市民の利用状況及び奈良市への広域連携負担金の推移から、どのように評価をされていくか。</p>
質問事項：森林環境譲与税を活かした森林保全の推進について	
質 問 要 旨	<p>平成31年3月成立の「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」に基づき、国税である森林環境税が、令和6年度から国内に住所のある個人に対して、年額1,000円を個人住民税と併せて市町村が賦課徴収し、この新税制により確保された財源は、森林環境譲与税（以下「譲与税」という。）として、同法の趣旨に基づき、森林の整備及びその促進に関する施策の財源に充てることとされています。</p> <p>そこで、この安定した財源を活かした市の取組みについて、以下の質問をします。</p> <p>(1) 本制度が始まった平成31年度から令和5年度における森林整備に係る事業実績は。</p> <p>(2) 本制度による譲与税の配分基準と配分額は。また、今後の見通しや制度の問題点は。</p> <p>(3) 除伐・間伐等による森林整備は災害防止の観点からも重要である。当面の事業計画（整備箇所、面積、事業費など）と課題は</p>
質問事項：カスタマーハラスメント対策について	
質 問 要 旨	<p>近年、自治体において、職員が悪質なクレームや不当な要求を受けるカスタマーハラスメント（以下「カスハラ」という。）が問題となっています。</p> <p>そこで、職場におけるカスハラの防止策や対応策の取組状況について、以下の質問をします。</p> <p>(1) 木津川市役所ではカスハラは発生しているのか。</p> <p>(2) 法令等においては、現行どういった措置がされているのか。また、犯罪、違法行為としてはどういったものがあるのか。</p> <p>(3) 市長は、職員がその能力を十分發揮できる職場を確保するため、カスハラ防止の責務と講すべき措置として、</p> <p>① 職員への方針及び行為者に対処する方針の明確化の考えは。</p> <p>② 対応職員へのサポート体制、被害を受けた職員のケア及び再発防止に向けた措置は。</p> <p>③ カスハラ等の防止に関する条例を制定する考えは。</p>

2 高岡 伸行	
質問事項：いじめゼロへ新アプローチを	
質 問 要 旨	<p>現在、小・中学校のいじめ対応における体制は、十分に図られていますか。半年に一度のアンケート調査では不十分ではと考え質問します。</p> <p>(1) 市で確認した、いじめ事案は何件か。直近の3年間をお示しください。</p> <p>(2) いじめは大人のわかりづらい所で行われる事は言うまでもない。子ども達に通報チラシ等を配布し、攻めの情報収集をすべきでは。</p> <p>(3) いじめは絶対にあってはならない許さない考え方のもと、新しい発想で、教育的アプローチ、行政的アプローチに取り組む必要があると考えます。</p> <p>お考えをお聞かせください。</p>
質問事項：平和の尊さを継承するために	
質 問 要 旨	<p>戦後79年が経過し、平和の尊さを継承する事が課題であると、メディア等でも良く目にします。小・中学生に継承する方法のひとつに、修学旅行での学習がある。広島市の平和記念資料館へ行くべきと重ねて提言します。</p> <p>そこで教育長にお尋ねいたします。</p> <p>修学旅行は、各小・中学校の校長先生の権限で学習先が決まる事は以前のご答弁からも聞いております。</p> <p>平和の尊さを継承する事が大切な昨今、昨年、広島及び長崎方面に学習に行かれたのは、木津第二中学校と木津南中学校です。</p> <p>小学校に関しましては、棚倉小学校の舞鶴・宮津以外はすべて伊勢方面です。</p> <p>教育委員会としても、修学旅行での学習先は、校園長会を通じて意見交換を進めていくべきでは。ご見解をお尋ねします。</p>
質問事項：発言力のある自治体に	
質 問 要 旨	本市では、JRの公共交通は、学研都市線の木津駅～京橋駅間、関西本線の木津～加茂駅間、そして奈良線の木津～京都駅間が通っています。これらの各線の課題を踏まえた上で、JR西日本の株を買い、株主総会で発言力を持つべきでは。

3 宮嶋 良造	
質問事項：会計年度任用職員の待遇改善と賃金格差是正	
質 問 要 旨	<p>1 市長は今年8月の人事院勧告と10月実施の最低賃金の引き上げをどう評価しますか。市においても人勧内容を実施し、府の最低賃金を大きく上回る賃金にすべきではないですか。</p> <p>2 これまで国基準の勤務時間や賃金・諸手当などの実施を求めてきましたが、実施しない理由が不明確です。再度実施しない理由を問います。その上で、会計年度任用職員の待遇改善を図るために、①週勤務時間15.5時間以上20時間未満の職員に期末勤勉手当を支給すること、②1日の勤務時間が7時間30分のパートタイム会計年度任用職員をフルタイム会計年度任用職員とすることを求めます。</p> <p>3 会計年度任用職員は正職員と同等の休暇が与えられていますか。正職員と同等でない休暇は何ですか。どのように改善しますか。</p>
質問事項：市民の移動手段をどう保障するのか	
質 問 要 旨	<p>1 新聞報道では「来年4月に廃止予定の奈良交通バス木津城山台線」とあります。市長は、来年4月に木津城山台線を廃止する立場ですか。</p> <p>2 城山台地域での「自動運転」の実証実験はどのように進められるのですか。今年度中に行うことは何ですか。来年度の実証実験運転の内容はどのようなものですか。いま、検討している実証実験の運転レベル、期間、運転ルート、1日の便数などを示してください。市長は、木津城山台線を維持すると表明してください。</p> <p>3 バス交通の空白地域をつくるために、奈良交通路線バスを維持し、市コミュニティバスを充実させるべきではないですか。</p>

	質問事項：ごみ減量目標をどのように達成するのか
質問要旨	<p>1 25年度末のごみ減量目標を達成することが困難になっています。どう分析し、対応しますか。</p> <p>2 有料ごみ袋の導入で減量目標を達成する計画でしたが、困難になっています。有料袋制を見直すべきではないですか。例えば、ごみ袋の価格を半額にする、有料制を廃止するなどを決断すべきではないですか。</p> <p>3 これまで提案してきた生ごみと紙類等を減らす具体策を行い、廃プラスチック・ビニールごみは可燃ごみに含めず分別して処理すべきですか。また、全国のごみ減量の先進事例に学び、取り入れてはどうですか。</p>
	質問事項：市は住民説明会の当事者
質問要旨	<p>1 3月議会で採択された請願項目「木津西出張所の在り方に関わり、対象地域住民への説明会を行うように要請すること」を市長はどのように扱って、進めてきたのですか。</p> <p>2 市民の生命を守る市は、木津西出張所の在り方に関わる住民説明会の当事者ではないですか。</p>

## 令和6年第3回木津川市議会定例会（9月13日）

### 一般質問通告書

1	山崎 光祐
質問事項：急増する外国人住民への対応は	
質 問 要 旨	<p>昨今、いわゆるインバウンド（外国人による訪日旅行）で国内は盛り上がっており、日本経済をけん引する重要な柱として、政府も積極的な政策を立てています。しかしながら、最近ではオーバーツーリズム、過剰な観光客による観光公害の問題が世間を賑わすようになっています。その原因は単に旅行客が一極集中する事だけではなく、文化や習慣の違いによる観光客の行動に起因するものも多いようです。</p> <p>さて、私が今回取り上げる外国人住民について、総務省のデータによれば、国内では今年の1月1日現在で、人口が前年比およそ33万人増の332万人余りと初めて300万人を突破することとなりました。政府が現在、人手不足対策として外国人の受け入れ拡大を推進しているほか、様々な要因で外国人住民はこれからも増えていくものと思われます。</p> <p>そのような中で木津川市の状況を見てみると、平成19年の市政発足時に500人弱であった外国人住民は、現在では1200人弱と倍以上に増加しました。令和3年まではゆるやかな増加でしたが、令和4年に市内に開業した物流センターでの雇用の影響か、ここ3年で500人以上増加しました。</p> <p>総務省の同じデータを見ると、全人口に対する外国人住民の割合は京都府全体で3%程度です。近隣でいえば久御山町が約6.5%、八幡市が約3.7%、宇治市や京田辺市が約1.9%です。本市の割合は1.5%程度ですので、決して多いわけではないですが、最近の増加率から鑑みれば何らかの対策を講じる必要があるように思います。</p> <p>また、外国人住民の中には、日本の文化や習慣になじめず孤立化する事例も多く報告されており、孤立した方同士がSNS等で集団化し、地域社会との摩擦が引き起こる例もあります。</p> <p>そこで以下3点、お尋ねします。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) コロナ禍以降、外国人住民と日本人住民とのトラブル、また外国人住民同士のトラブルは、発生していますか。またそれらを行政として把握されていますか。把握していれば、発生件数やどのような事例があるのか教えてください。</li><li>(2) ごみ出しなどの日常生活に関する事例や各種行政手続きなど、外国人住民の困りごとへの対応はどのように行っているのか教えてください。</li><li>(3) 政府は外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策として、令和4年度から、「外国人との共生社会の実現に向けたロードマップ」を策定し共生社会の実現のために取り組むべき施策を示しているが、本市としての取り組みは。</li></ol>
質問事項：消防団員の安心安全な消防団活動のために	
質 問 要 旨	<p>私も現役の消防団員であり、市民の生命財産を守るために地域住民の代表として消防団活動に取り組んで20年余りになります。</p> <p>コロナ禍を経て、6年ぶりに7月14日に開催されました、木津川市消防団操法大会に際しては、多くの団員が生業の傍ら、連日の操法訓練に参加されました。団員や団員のご家族への過大な負担の筆頭として挙げられることの多い操法訓練ですが、最低限必要な消防技能の習得にこれほど合理的かつ確実な訓練は他にないと私自身は考えております。消防団員の皆さん、長期間にわたる訓練、本当に疲れ様でした。皆さんが訓練を通して得た消防技能によって、木津川市の消防力は一段と強化されたものと自負しております。</p> <p>さて、そのような消防団ですが、今回は団員の消防団活動における安全面についてご質問いたします。まず懸案となっていました、有事に現場へ自家用車等で駆けつけた時に万一事故が起きた場合の補償については、今年度より市の方でご対応下さいました。</p> <p>今回は2点、取り上げさせていただき、是非改善をお願いしたいと思います。</p> <p>まず1点目、ホースの乾燥設備についてお尋ねします。訓練や火災出動などで使用したホースは各部において水洗いをし、その後、乾燥塔や建物屋上から吊り下げるこによって天日干しにて乾燥させていると思いますが、その乾燥設備につきまして以下2点お尋ねします。</p>

## 質問要旨

- (1) 各部におけるホースの乾燥設備について、どのような設備があるのか、また設備の運用状況など現状を教えてください。
- (2) 不具合のある乾燥設備、またそもそも設備が未整備の場合、今後の改修や更新、新設予定を教えてください。

次に、団員の健康面についてお尋ねします。

昨今の夏季の猛暑はかなり厳しいものがあります。気象庁の観測によりますと、特に暑かったといわれた昨年は、京都市で9月30日までに猛暑日が43日あったようですが、今年は8月29日までにすでに39日あり、日中の屋外での活動が非常に危険な日が多くなっております。そのような中、例えば、昨年は真夏の日中に木津川流域での捜索活動がありました。幸い、熱中症などの報告はありませんでしたが、熱中症警戒アラートの発出が多発する中、安全な屋外活動への環境整備は喫緊の課題ではないかと考えます。

火災や土砂災害、水害など災害現場での安全確保はもちろんですが、消防団の活動は昼夜を問わず、また多岐に渡ります。

そこで、以下2点お尋ねします。

- (3) 消防団活動において、団員の健康面での安全を図るために、現在実施している対策を教えてください。
- (4) 現在実施している対策の他、導入予定の装備や対策があれば教えてください。

## 2 西山 幸千子

## 質問事項：学校給食を安全に提供するために

## 質問要旨

6月議会で、給食センターでの仕上がり時間と給食の開始時間について提供された資料に大きな間違이がありました。あらためて提出された資料に基づき、以下のとおり質問します。

(1) 学校給食提供時の「検食」と「喫食」とは何ですか。また「2時間喫食」とはどういう状態で、行われている意味は何ですか。

(2) 前回の資料は具体的にどのような間違이がありましたか。なぜそのような食い違いがあったのですか。

(3) 保健所が実施する給食センターへの立ち入り検査はどの程度の頻度で行われ、どのような指導・支援がありますか。

(4) 教育委員会会議でどのように報告し、それに対してどのような質問と意見が出ましたか。

(5) 今後、どのように改善を進めていきますか。

## 質問事項：地域防災計画は万全か

## 質問要旨

1月1日の能登半島地震は震度7で6日は6弱。4月の豊後水道地震は6弱。8月の日向灘地震の6弱では、「南海トラフ地震臨時情報」が初めて出されました。今年に入ってから、震度5弱以上の地震は能登地方を中心に26回にのぼっています（8月27日時点）。

(1) 高浜原発1号機は国内で一番古く50年になります。今、原発に被害が生じるような地震があった場合、どのように対応しますか。

(2) 原子力災害対策に基づく、避難者の受け入れ方法・計画などを具体的に検討しましたか。

(3) 南海トラフ地震が発生した場合、市内の被害状況はどの程度を想定していますか。隣接する奈良市や相楽郡内でも大きな被害が予想されますが、どの程度と考えていますか。

(4) 奈良盆地東縁断層帯は30年以内の地震の発生確率が0～5%とされ、国内でも発生確率が高いものとなっています。この場合の市内の被害状況はどの程度を想定していますか。

## 質問事項：高齢者の健康保持に生きがいづくりを

## 質問要旨

木津川市にもかつては「ニュータウン」と呼ばれた地域がたくさんあり、高齢化が進んできています。毎日することがあり、人から頼りにされ、話す相手がいることが健康を維持することにつながると言われています。

(1) 今後10年間の推移を含めて、高齢化率の高い地域はどこですか。

(2) 具体的に高齢者の生きがいづくりで取り組んでいることは。

(3) 各地域でサークル活動やボランティア活動が行われています。生涯学習への支援はどのように行われていますか。

	3 大角 久典
質問事項：市民の命を守れ	
質 問 要 旨	<p>1 毎年行われる健康診断の取り組みについてお聞きします。一般的には身長・体重測定や血液検査、視力・聴力検査などを行い、最後に医師による問診があります。市では胃がんの検診や大腸がん検診、前立腺がん検診、乳がん検診、子宮頸がん検診などがありますが、現在、胃がん検診では胃部X線検査という発泡剤（胃を膨らませる薬）とバリウム（造影剤）を飲み、胃の中の粘膜を観察する検査を主として行われています。その他に胃内視鏡検査もありますが、選択できる仕組みを導入する考えは。</p> <p>2 带状疱疹は、多くの人が幼少期に感染する水痘（水ぼうそう）と同じウイルスが原因で、加齢や疲労など免疫力の低下に伴い、神経に潜伏していたウイルスが再活性化して発症する。発症率は50歳代以降で高くなり、ピークは70歳代。後遺症が残る場合もあり、予防にはワクチン接種が有効とされる。ワクチンは現在、全額自己負担の任意接種に位置付けられており、高いもので4万円程度かかる。専門委員会では定期接種化に向け、国内で使用されている1回接種の生ワクチンと2回接種の不活化ワクチンの安全性や有効性を確認し、費用対効果が期待できるとした。全国で独自に接種費用を助成する自治体も6月現在で計660自治体に増えているが本市の考えは。</p>
質問事項：軟骨伝導イヤホンを窓口に導入しては	
質 問 要 旨	耳が聞こえにくい来庁者に配慮するために、耳の軟骨を振動させて音を伝える「軟骨伝導イヤホン」を導入する自治体が増えています。このイヤホンは、耳の軟骨を振動させて音を伝える仕組みで、音漏れが少なく小声でもはつきりと聞こえる。そのため、市職員が大声で話す必要がなく、来庁者の個人情報や相談内容を周囲に聞かれずに済みます。窓口に導入する考えは。
質問事項：熱中症対策は万全だったか	
質 問 要 旨	総務省消防庁は、8月20日、熱中症により7月に全国で救急搬送された人数が前年同月の約1.2倍に当たる4万3,195人に上ったと発表しました。2008年の調査開始以降、7月として最多だった18年（5万4220人）に次ぎ2番の多さで35度以上の猛暑日となる地点が相次いだためと見られます。一時的に冷房設備を有する地域の公民館や図書館、スーパーなどを「指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）」に指定する動きが全国で進みました。外が暑くても仕事や買い物、通院など、どうしても外出しなくてはならない時、暑さをしのぐ休憩場となっています。今年、シェルターとして指定された公共施設や商業施設はありましたか。また、市の取り組みをお聞かせください。